

令和2年度2月補正予算案

令和3年2月



2月補正にあたって
の現状認識

コロナ下

国経済対策

年度末の精算など

補正予算
の柱

エール

未来

社会資本
整備

医療・介護の現場へのエール



医療従事者

看護師



県独自の追加支援金

個人につき × 6万円



薬剤師

福祉施設職員



県独自の支援金
医療機関につき



陽性患者受入医療機関

× 2,000万円

疑い患者受入協力医療
機関、特定二次医療機関

× 1,000万円

緊急転換支援金
(入院協力医療機関)

× 1,000万円

大切な子どもたちを預かる現場へのエール

今回新たに

保育士

幼稚園
教諭

放課後
児童クラブ
支援員

県独自の支援金
個人につき

× 6万円



スキンシップが大事な現場で、日々気をつかいながら、大切な子どもたちを預かっている皆さんへ

中小事業者の事業継続に向けたエール

R3.1月専決

約36億円

時短要請協力金

飲食店の皆様へ

営業時間の短縮をお願いします。



期間 令和3年1月21日(木)～2月7日(日)まで
 ■ 営業時間は 5時～20時までの間
 ■ 酒類の提供は 11時～19時までの間

対象 飲食店、喫茶店、遊興施設のうち食品衛生法上の飲食店営業許可を受けている店(宅配、テイクアウトのみ行っているところは対象外)

区域 佐賀県全域

協力金 1店舗あたり 72万円
 (全期間時短要請に応じた店舗へ)

※受付期間:本日2/8(月)から3/5(金)まで

今回(2月補正)

佐賀型中小事業者応援金

時短要請協力金の対象外の皆さんにも、エールを送ります

1事業者につき

法人 20万円

個人 15万円



※売上が50%以上減少した事業者が対象
 ※時短要請協力金の交付を受けた飲食店等を除く

佐賀の子どもたちの未来のために

約24.3億円

全国でも一早く、私立高校に1人1台端末 (私学版・プロジェクトE)



県立高校とあわせ、全県下で
1人1台端末を実現



“ものづくり県”佐賀の実践的人材育成

工業・商業・農業など専門高校の
設備をデジタル化・新規導入



約1.3億円

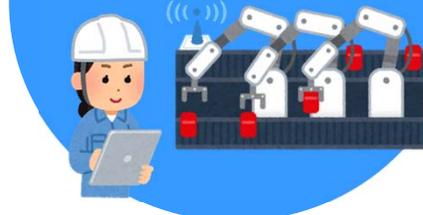
産業

佐賀の産業の未来のために

産業DXのフラッグシップモデルを**創出**し、**横展開**

コロナ禍で変化する社会を見据えて
デジタル技術を活用した“**変革**”を支援

多くの付加価値額と
雇用を生み出す
「**製造業**」



産業や生活を
支える
「**卸・物流業**」



移住

新たな人の流れは、佐賀の未来への布石

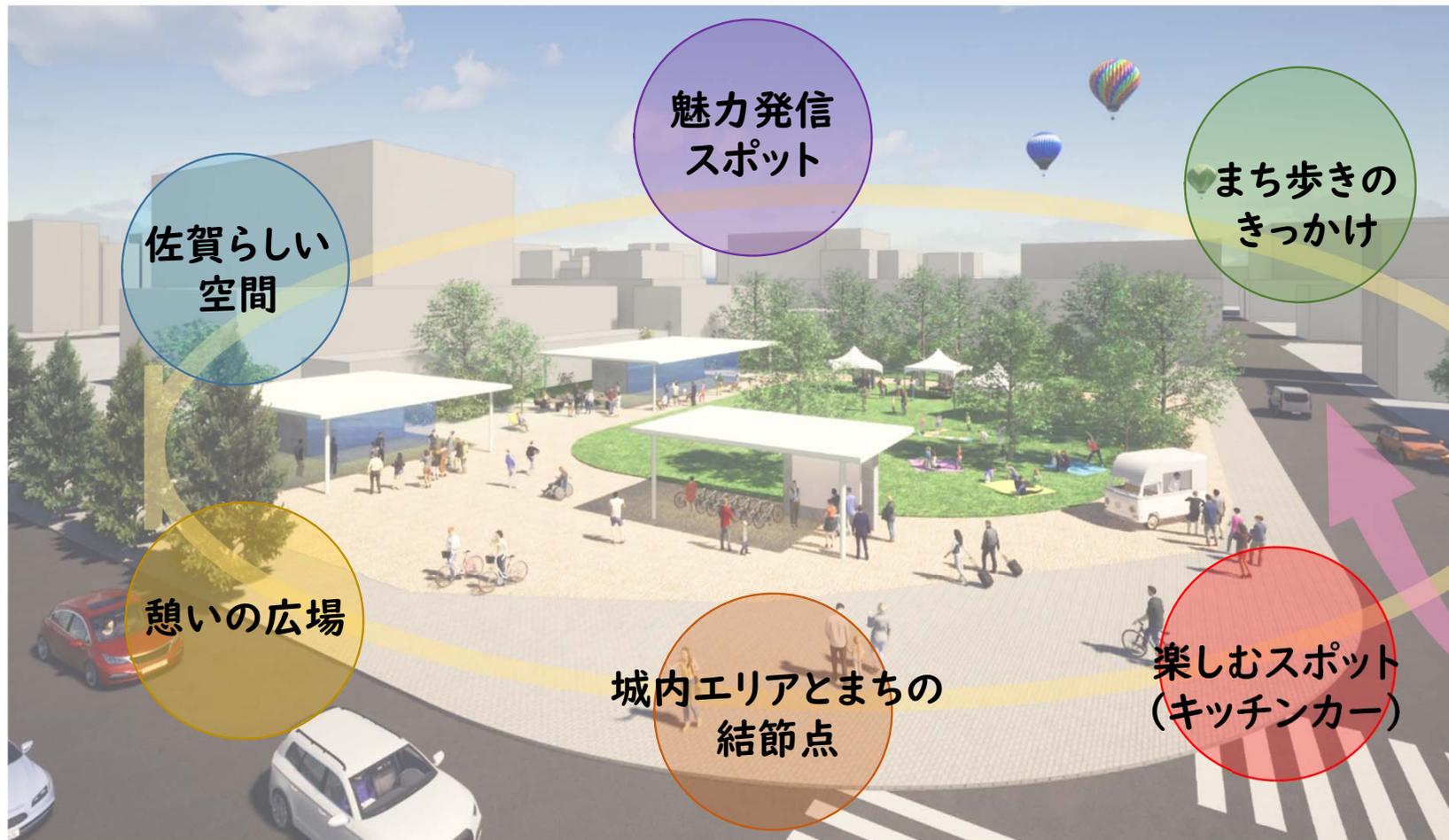
テレワーク移住を支援し、新たな人の流れを**創出**

コロナ禍における地方移住への関心の高まりを
好機に、地方で働くスタイルを佐賀から提案



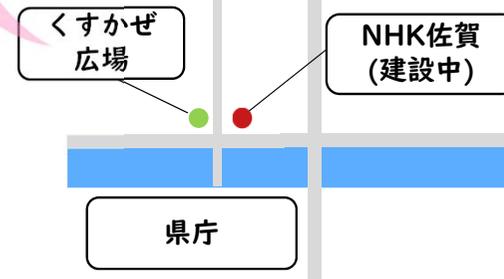
「くすかぜ広場」を再生

約3.5億円



まち歩きと
魅力発信の
拠点に

〈位置図〉



社会資本整備

令和2年度2月補正予算

約150億円

政策提案などにより
大幅に事業費が増加
約1.3倍

治水対策



道路ネットワーク



老朽化対策



土砂災害防止対策



道路防災対策



農林水産業の基盤整備

令和2年度2月補正予算

約90億円

食肉センター整備



園芸用ハウス整備



クリーク防災事業



ため池整備事業



治山事業



一つになって、
乗りこえよう。

